

# 日刊建設産業新聞

発行所  
日刊建設産業新聞社

本社  
〒173-8710 東京都板橋区板橋1-48-9  
電話 03(3961)1691(代表)  
ファクス 03(3961)2251  
(http://www.kensan-news.com/)

支社  
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越  
支局  
埼玉、中部

© 日刊建設産業新聞社

2017

## 「クイックデッキ」広島県内初採用

### 最大スパン 5m、高い作業・安全性

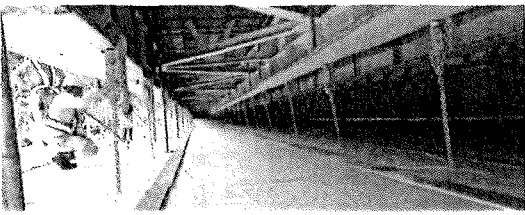
## 日綜産業大空間屋根改修にも強み

日綜産業の新型システム吊り足場「クイックデッキ」が「中国自動車道(特定更新等)大峰橋(下

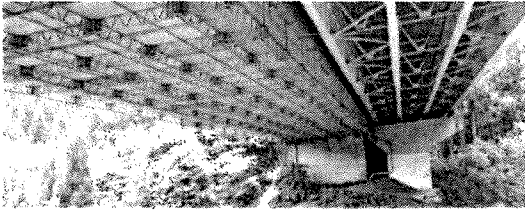
ツキ)が「中国自動車道(特定更新等)大峰橋(下

り線)他2橋床版取替工事(庄原市東城町地内、施工三井住友建設)において広島県内初採用された。吊りチェーン間隔が最大5×5mと非常に広く作業性・安全性に優れることが最大の特長で、リリースから約3年で納入実績が200件を

青津橋補修のよう



チェーン間隔2.5m、段差・隙間もない



青津橋補修のよう

超えるなど、好調な出足を見せている。「クイックデッキ」は、アメリカ製の製品をベースに、「3Sシステム」の手すりや支柱、床材の

たわみを防ぐ孫梁、アルミ製床板、オリジナル型幅木など日綜産業独自の技術を加え、より安全・安心な日本仕様として改良したもの。

一般的な吊り足場よりもはるかに広いチェーン間隔(2.5m×5m)でありながら最大積載荷重350キログラム/平方メートルを実現。高精度の床板によって足元の段差や開口部もなく、吊点からの跳ねだし最大5mの先行床施工によって高所作業でも安全に施工が可能だ。

また、基本構成部材は全てシステム化されているため、工具不要で簡単かつ迅速に組み立てができることもメリットで、国交省のNETIS(T

H150007-A)にも登録されている。

今回、「クイックデッキ」が採用されたのは、3橋の床版取替工を行う同工事のうち、青津橋(L113・1m)の補修工事。現場代理人を務める三井住友建設の沼竜哉氏によれば、「青津橋は3橋の中で最も地上高が高く、橋梁下には民家や農道などがあるため、水や破片の飛散を防止する必要があった。安全性を第一に考えて選択した」とし、作業員などからの評判も良好という。

有する建物の屋根改修工事などにも向く。中国地方の実績では、山口県内で昨年1年間に約20件活用されたほか、岡山県のイオンモール岡山(14年開業)にも採用。広島県内の実績2号として、イオンモール広島府中の屋根改修工事への納入も決まっているという。

落下物の危険がなくデッキ下の施設を通常稼働させながらの改修工事が可能なことから、大型ショッピングセンターや体育館、工場など大空間を

日綜産業広島支店の梶原泰彦支店長は、「橋梁補修等は今後増えるし、民間建築施設にとっても通常稼働しながら施工できることは大きな強み。幅広く売り込んでいきたい」と話している。問い合わせ等は同社広島支店(広島市中区大手町3-8-4、TEL082-542-0811)まで。

# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2017



広島県北の庄原市東城町で西日本高速道路中国支社が進める「中国自動車道青津橋補修工事(施工Ⅱ三井住友建設・馬場則

## 日綜産業のキックデッキ 安全性が向上

幸統括所長、沼竜哉所長)に、日綜産業のシステム吊り足場「キックデッキ」が採用され、安全性向上などで成果を上げている。写真。

キックデッキの納入・稼働現場は大型ショッピングモールや航空機組立工場の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架改修など200件以上。中国地方では岡山駅前に完成したイオンモール岡山や中国四国防衛局の岩国飛行場格納庫新設などで実績がある。広島県内の現場では初めて採用された。

今回の現場では、中国自動車道(特定更新等)大峰橋(下り

### 中国道青津橋補修で広島県内初採用

線)他2橋床版取替工事のうち、ロングスパンの青津橋(鋼2径間連続非合成鋼桁橋、長さ13・1桁)で採用された。地上からの高さは約45桁。撤去床版面積は1124平方桁、キックデッキ使用床面積は1000平方桁となっている。

日綜産業の梶原泰彦広島支店長は「在来の吊り足場に比べ、長大なチェーンピッチに加え、床面の隙間が限りなくゼロに近いことで安全性の高い作業空間が提供できる」と製品のメリットを解説した。

現場の馬場統括所長は「橋梁の真下には一般道(県道)が通

っていることに加え、家屋や田畑があり、落下物対策はもとより、墜落対策などの安全性でメリットが高いと判断した」とキックデッキを採用した経緯を説明。沼所長は「床の仕上がりフラットで隙間がない。荷重的にも在来工法に比べて強い」と高く評価した。

同工事は、青津橋のほか、矢居谷橋(鋼3径間連続非合成鋼桁橋、長さ108桁)、大峰橋(鋼4径間連続非合成鋼桁橋、長さ182桁)の3橋で、下り車線を占用して床版の取替工事を実施する。工期は2018年3月19日まで。

作業状況を見学する参加者



日綜産業の新型システム「クイックデッキ」が、西日本高速道路中国支社発注の「中国自動車道(特定更新等)大峰橋(下り線)他2橋床版取替工事(施工・三井住友建設)で採用され、発注者や施工者からその施工性、安全性、

効率性が高く評価されている。見学会には、

同社ではこれを機に、西日本高速道路の関係者も5月31日、採用現場の見学会を開いた。

中国自動車道大峰橋(下り線)他2橋床版取替工事では、矢居谷橋(下り線)、

日綜産業

## 中国道橋梁補修に採用

広島県内初安全・施工性で高い評価

システム「クイックデッキ」

大峰橋(下り線)、青津橋(下り線)の三つの橋梁の床版取り換え工事を行っているが、このうち、橋梁下に民家や道路、田畑がある

に、鋼2径間連続非合成鋼板桁橋、橋長131.1m、支間長56m+56m、橋脚高40.5m)に取り入



クイックデッキの設置状況

性から、全国で200件以上の稼働中現場でその威力を発揮し、高い評価を得ている。中国地方では、イオンモール岡山や米軍岩国基地施設で採用されているが、広島県内では初採用。同社では、本格化するメンテナンス時代に向け、橋梁などの点検・補修など公共工事への市場拡大を図っていく考えだ。

6月9日

2017年  
(平成29年)

金曜日

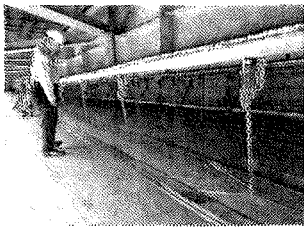
第18851号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

# 鉄鋼新聞

## 日綜産業の「クイックデッキ」 広島県でも初採用



高所での安全性と作業性から採用決定

軽仮設機材メーカーの日綜産業(本社・東京都)が展開する先行床施工式フロア型システム

テム吊り足場「クイックデッキ」が広島県内で初採用された。県北の庄原市内に位置する高速道路の橋梁補修工事に使われ、施工面積は1千平方メートル。

クイックデッキは米国の仮設機材メーカーが2004年に開発。作業床の先行設置やユニットのシステム化などで、安全な簡易施工・解体・工期短縮を可能とした。高強度チェーンを使用し、最大ピッチが5メートルと従来工法より幅広く作業者の移動や機材運搬が容易となる。一度で12・5メートル×7・5メートルのユニットを吊り上げ可能。1平方メートルあたりの最大積載荷重は350キログラム。全

山駅前の新ランドマークである大型商業施設・イオンモール岡山新築工事にも使われている。

今回の工事名は、NEXCO西日本発注の「中国自動車道青津橋補修工事」。施工は三井住友建設。クイックデッキは主に床版取替工事の際に生じる舗装コンクリート切削時の破片や切削水の受け皿として機能。高所での安全性と作業性の観点から、採用が決定した。現場周辺は特定公園の範囲内で橋直下には民家があり、クイックデッキにシートを張れば無段差・無隙間となり落下物の危険性を可能な限り低減できることも採用を後押しした。

日綜産業の梶原泰彦広島支店長は「建築面は大型商業施設の天井改修工事や体育館改修工事がターゲット。土木では新規道路需要が少ないが道路老朽化が著しく、メンテナンス・点検需要を見込み、この商品売り込んでいきたい」と語っている。

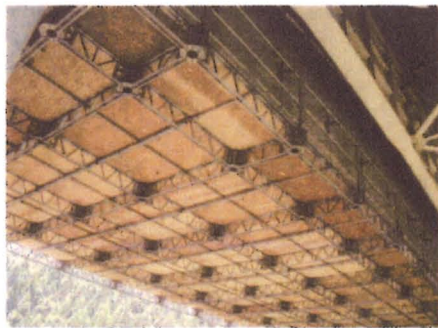
### 日綜産業

## 広島で県内初採用

### クイックデッキ 青津橋に1000平方メートル

軽仮設大手の日綜産業(本社=東京都中央)区、小野大社長)は新「クイックデッキ」が、西日本高速道路・中国

支社発注「中国自動車道(特定更新等)大峰橋(下り線)他2橋床版取替工事(施工=三井住友建設)のうち1橋の青津橋で約1000平方メートル採用されたと発表した。広島県内の採用は初めてで、工期は2016年9月16日から18年3月19日まで。



橋梁下部に設置されたクイックデッキ

同製品は従来に比べて広い吊りチェーン間隔とたわみが少なく段差や閉口のない快適な

対応でき、安全に施工できる。青津橋は地上からの高さが約45分で、今回工事をする橋の中で一

空間となり、スピーディーに作業をすることが可能。また吊り点からの跳ね出しが最大5分の先行床施工のため、高所でも大空間に

日綜産業・広島支店は今後の方針として、学校体育館の古くなっている屋根改修工事や橋の工事など、増加が期待されるメンテナンス事業にも力を入れていく考え。